

新会長に村瀬社長

ダク異形管
協 総 会

従来の柱を強化

日本ダクティル異形管
工業会は6月14日、東京
千代田区内で第58回定



村瀬新会長

時総会を開催し、29年度
決算・事業報告、30年度予
算・事業計画案など5題
を審議、了承したほか、議
事終了後には感謝状授与
が行われた。冒頭、5月開
催の常任理事会で、新会
長に副会長を務めていた
村瀬充・村瀬鉄工所代表

取締役社長が就任したこ
とを報告した。

冒頭、村瀬新会長は
「厳しい事業環境にある
が、皆さまのご協力を得
ながら、業界の発展や、
会員企業に対して少しで
もプラスになるように取
り組んでいきたい」など
と決意を述べた。このほ
か役員・委員については、
人事異動に伴う交替等を
報告した。

29年度事業報告・30年

度事業計画案について
は、ともに技術、広報の
各委員会が説明。

技術委では、会員会社
における品質管理活動の
充実、規約の制定・改正
への対応、関連団体の課
題への対応を柱に展開。
29年度は、品質標準化に
向け「粉体塗装手直し方
法の標準」(JDFQO
10)を制定した。また、
会員への支援として異形
管テキストと異形管用語

集を作成し、HPに掲載、
会員各社に配布した。30
年度も3本柱は同様で、
特にテキスト・用語集に
ついては追加検討を実施
した上で充実を図り、要
請に応じて出前教室を実
施する。

広報委は人材育成を柱
に取り組み、配管講習会
と直管製造見学会を開催
した。また会員専用サイ
トの充実、更新増を図り、
アクセス増につなげた。

30年度も同様の柱を立
て、8月30日に都内で下
水道技術講習会を開催予
定として、会員各社に参
加を呼び掛けた。

このほか役員、委員等
を10年以上務めた者に対
する表彰として、平山太
一前会長、吉田哲夫常任
理事、吉澤守久技術委員
に感謝状が贈られた。
議事終了後には東京国
税局による軽減税率制度
の説明会も開催された。